

# 絆

## 安中市立松井田中学校 学校通信



令和6年 4月19日発行 NO.3

文責：校長

### 令和6年度 第1回「学びアップ」ウィークが始まります！

松井田中学校では、昨年度3学期より、生徒の家庭学習の定着を図るため、「学びアップ」ウィークに取り組んでいます。今年度も年間4回、「学びアップ」ウィークを設定しています。今年度の第1回「学びアップ」ウィークは、4月22日(月)～28日(日)に設定しました。年度始の早い時期に設定したのは、早めに家庭学習に対する意識を高めてもらいたいからです。

「学びアップ」ウィークでは、生徒はタブレットに配信された「学びアップ」シート(下図)に、その日の家庭学習の予定と実際に家庭で学習した学習内容、家庭での学習時間を入力します。入力すると自動で学習時間や評価(A～C)、教科ごとの学習時間の割合(グラフ)が表示されます。「学びアップ」ウィーク終了後に、生徒は感想・反省を記入し、1週間の自分の家庭学習について振り返ります。担任は、「学びアップ」シートをもとに、家庭学習についてのアドバイスを行ったりします。

松井田中学校の家庭学習の目標時間は、 $60分 + 学年 \times 10分$  となっていますので、以下のような時間で、A～Cの評価になります。

	A	B	C
1年生	70分以上	50分以上70分未満	50分未満
2年生	80分以上	60分以上80分未満	60分未満
3年生	90分以上	70分以上90分未満	70分未満

### 「学びアップ」シート

3年

自分の学年を選ぶ。

目標										
目標を記入。										
	国語	社会	数学	理科	英語	その他	塾等	学習時間	自己評価	予定
4/22 (Mon)	ワークp0 10		ワークp0					80	B	
4/23 (Tue)		ワークp△ 10			単語学習 (教科書p0) 30			40	C	
4/24 (Wed)		30	30	30				90	A	
4/25 (Thu)		30	30					60	C	
4/26 (Fri)		120						240	A	
4/27 (Sat)						120	50	170	A	
4/28 (Sun)	100	30	30	30	30	20	30	270	A	
勉強時間							80	平均学習時間 135.7	総合自己評価 A	
感想・反省										
学びアップウィーク終了後に感想・反省を記入。										

「学びアップ」ウィークの取組が生徒の家庭学習の習慣化につながればと思います。結果等は学校だよりでお知らせしていきますので、ご家庭でもお声がけをお願いします。

## 第1回避難訓練が行われました

4月15日(月)の5時間目に、今年度1回目の避難訓練が行われました。今回は、第1理科室から出火したという想定での避難訓練でした。生徒たちはとても真剣に取り組むことができていました。校長からの講評では、次のような話をしました。

今日の避難訓練では、避難開始から全校の点呼終了まで3分4秒でした。全体的には合格点を与えられるものだと思います。しかし、「お・は・し・も」「おさない」「走らない」「しゃべらない」「もどらない」の「し」、移動中の「しゃべらない」は今後の課題になると思います。また、今回は火災を想定した避難訓練ですので、ハンカチや衣服で口や鼻を覆うというはできていたでしょうか？

今日の訓練に際し、「またか」とか「面倒くさい」と思った人はいませんか。そう思った人は、きっと「火災や地震なんて起こるはずがない」とか、起こったとしては「自分だけは大丈夫」という「誤った思い込み」をしています。この「誤った思い込み」のことを心理用語で「正常性バイアス」といいます。例えば非常ベルが鳴っていても「また、誤報だから大丈夫」とか火災が発生しても「大きくはならないだろう」と勝手に思い込むことを言います。でも、災害が起こったときに「自分だけは大丈夫」という根拠はあるのでしょうか？今年1月1日に石川県輪島地方で大きな地震がありました。みなさんからも義援金を協力してもらいましたが、元旦にあんな大きな地震が起きることを誰が予想できたでしょうか？また、4月3日には台湾でもマグニチュード7を越える地震が発生しました。ビルが大きく傾いた様子をニュースなどで見た人もいます。あんなことが起きるなんて予想できた人はいるでしょうか？

「天災は忘れたころにやってくる」と言います。予想もつかない天災が起こったときに役に立つのは、訓練をとおして身に付けた「冷静な判断力」だけです。ぜひ、「正常性バイアス」に陥らずに、これからも今日のようにしっかり訓練をやっていきましょう。



避難訓練に対する生徒たちの振り返りを紹介します。

放送をしっかりと聞き、すぐに並べたので良かったと思う。おはしもを守れたので良かった。悪い点は、並ぶときに少しかだけ混雑してしまったところで、改善点は、焦らずに行動することだと思う。

小学校の避難訓練に比べて音などもよりリアルになり、より一層真剣に取り組むことができた。

しっかり火災の様子を想像して取り組むことができました。少し話してしまったことが悪い点です。前回からも同じことを改善点にしていたので、次はしっかり意識して災害に備えて訓練したいと思います。

喋らずに速やかに避難することができました。今度は避難だけではなく火災ということ意識して背を低くしてハンカチなどで口元をおおい取り組みたいと思います。

校長先生がおっしゃったように、あるはずがないとってしまうから、災害などの恐ろしさを知り、もし起きて少しでも冷静に行動できるようにこれからの訓練をやりたい。みんなについていくのではなく、どういう道を今通っているかなど意識したい。

自分は「おはしも」を守り、素早く避難することができた。しかし、他の人達の避難を見ていると避難中に後ろを向いている人や友だちと話している人などがいたので、気をつけるべきだと思った。

緊急放送を聞き、先生方の避難誘導指示を聞けばいいと改めて知った。このような避難訓練はいつ災害が起きるのかが分からないので、毎回真剣にしようと思った。

今回は火災を想定した避難訓練が行われました。松井田中学校では初めての避難訓練だったけど、小学校で教わったことを思い出して、喋らない、速歩きで行動することができた。でも並ぶのが遅くなってしまったので、みんな協力し、なるべく早く並び、先生が人数を数えやすいようにしたい。

校長先生の話に、「正常性バイアス」という用語が出てきました。要約すれば、危険性に鈍感になることだと思います。これは、本当に危険が迫ってきているときに、確実にマイナスとして働くと思うので、日頃から危機感を持っていた方が良く感じました。

